

2025年1月29日(水)～31日(金) @東京ビッグサイト 東ホール



nano tech
International Nanotechnology Exhibition & Conference

×



新機能性材料展

合同企画

研究開発DXゾーン

出展のご案内

会期 / 会場 2025年1月29日(水)~31日(金) @東京ビッグサイト 東ホール

名称 nano tech 2024 第23回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議

主催 nano tech実行委員会
(委員長 川合 知二:
大阪大学 産業科学研究所 招聘教授 / 東京都市大学 特別教授
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 技術戦略研究センター フェロー /
国立研究開発法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター 特任フェロー)
株式会社JTBコミュニケーションデザイン

名称 新機能性材料展2024

主催 株式会社 加工技術研究会 (代表取締役社長 荒木茂雄)
株式会社JTBコミュニケーションデザイン

出展対象

材料・素材: ナノマテリアルゾーン

ナノ粒子、複合材料、ナノセルロース、カーボンナノチューブ、ナノファイバー、ナノコーティング、ナノコンポジット材料、グラフェン、ナノインク、生体適合性材料、フォトニクス材料、フラタル、ナノコロイド、高性能触媒材料、超導材料、セルロースナノファイバー(CNF)、セルロースナノクリスタル(CNC)、セルロースファイブメント、バクテリアセルロース(BC)、マイクロファイブリル化セルロース(MFC)、セルロースフィブリル、ナノセルロース複合材料、その他ナノセルロース材料、セラミックス、電極材料、ナノ複合材料応用技術

分析・計測・評価: ナノアナリティクスゾーン

電子顕微鏡 (SEM,TEM)、分析装置、評価・計測設計ツール、超精密測定機器、高機能・高感度センサー、受託評価・計測・分析サービス、分子イメージング、シミュレーション・分子設計ソフトウェア、近接顕微鏡、ピエゾステージ、SPM・AFM、マイクロTAS、マテリアルズインフォマティクス、シミュレーション・分子設計ソフトウェア、検査・分布計測、オペランド計測、クライオ顕微鏡、研究開発支援ツール、三次元計測、X線CT、その場ナノ解析、高時間分解計測

加工: ナノファブリケーションゾーン

薄膜製造技術、ナノインプリント、超精密表面加工技術、レーザー加工、インクジェット、混合・攪拌・分散、粉砕技術、微細パターン印刷技術、エッチング、次世代リソグラフィ、電子・イオンビーム加工、受託加工サービス、微細トランジスタ技術、微小放電加工、フュージョン・ボンディング技術、乳孔化、接合技術、微小放電加工、微細トランジスタ技術、セルロースナノファイバー加工

応用: ナノイノベーションゾーン

● ベンチャー企業 ● モビリティ ● 二次電池 ● 燃料電池 ● 太陽電池 ● 次世代センサー ● 次世代半導体 ● 人工知能・ディープラーニング ● MEMS/マイクロマシン ● 軽量化材料 ● 化粧品材料 ● 再生医療 ● ウェアラブルデバイス ● 航空・宇宙 ● 農業 ● バイオメテックス ● 積層セラミックコンデンサ ● ノイズ除去 ● フレキシブル基盤 ● サーマルマネジメント技術 ● 全固体電池 ● リチウムイオン電池 ● 次世代電池

技法・公約機関・アカデミア

アカデミア (大学・研究室・産学連携) 国プロ、ナショナルバリエーション、学会・組合組織、公約機関、TLO、自治体、商工会、中小企業支援団体、国際団体、組織

出展対象

マテリアルゾーン	機能性マテリアル/機能性樹脂・機能性添加剤/機能性インキ/機能性コーティング剤/機能性接着剤/高性能フィルム 他
複合材料ゾーン	軽量化樹脂素材 (熱可塑性樹脂・熱硬化性樹脂・CFRP・GFRP・複合材料) /コンポジット材料 (CNT・CNF・ガラス繊維・その他フィラー) /複合化技術・装置 他
不織布・機能紙ゾーン	不織布/機能性繊維・繊維シート・複合材料/フィルター/機能紙/紙・特殊紙/パルプ・原料繊維・製紙原料/木質系材料 (セルロース・CNF・バイオマスプラスチック) /製紙用薬品 他
試作・受託ゾーン	受託加工ビジネス/試作請負/その他サービス

同時開催

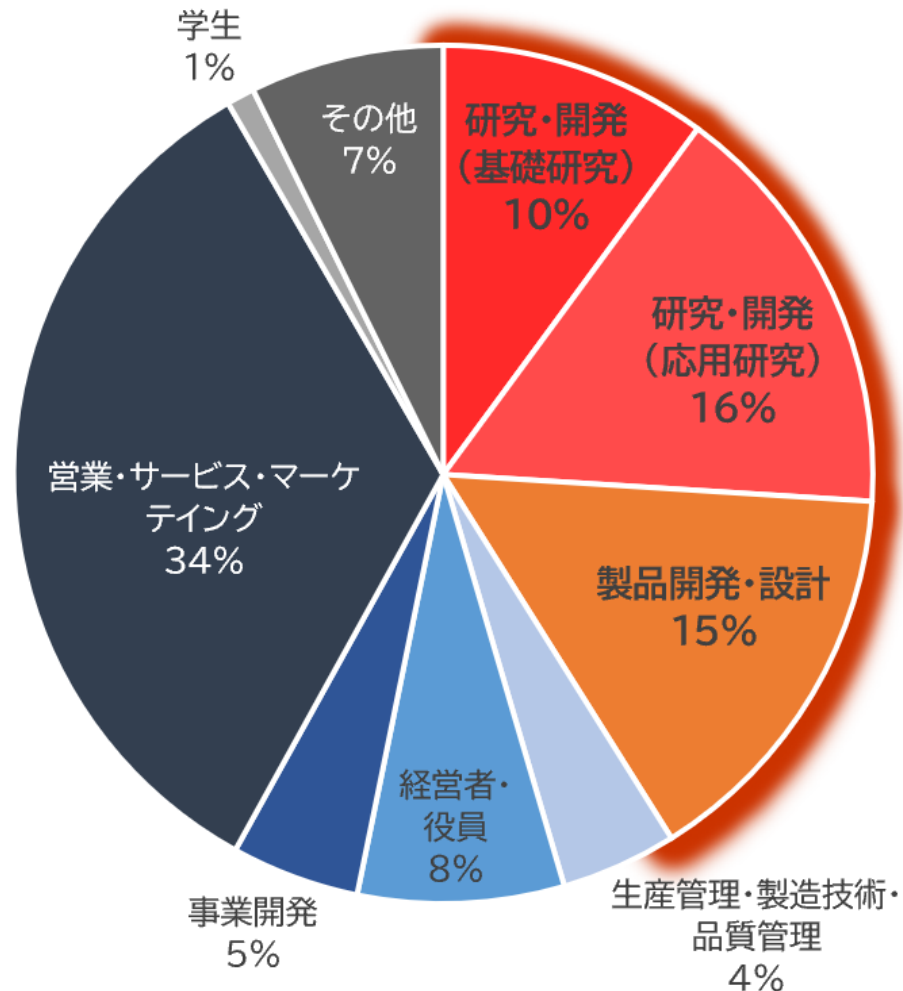


来場者の質が高い展示会

※ nano tech2024/新機能性材料展2024の来場登録者データより算出

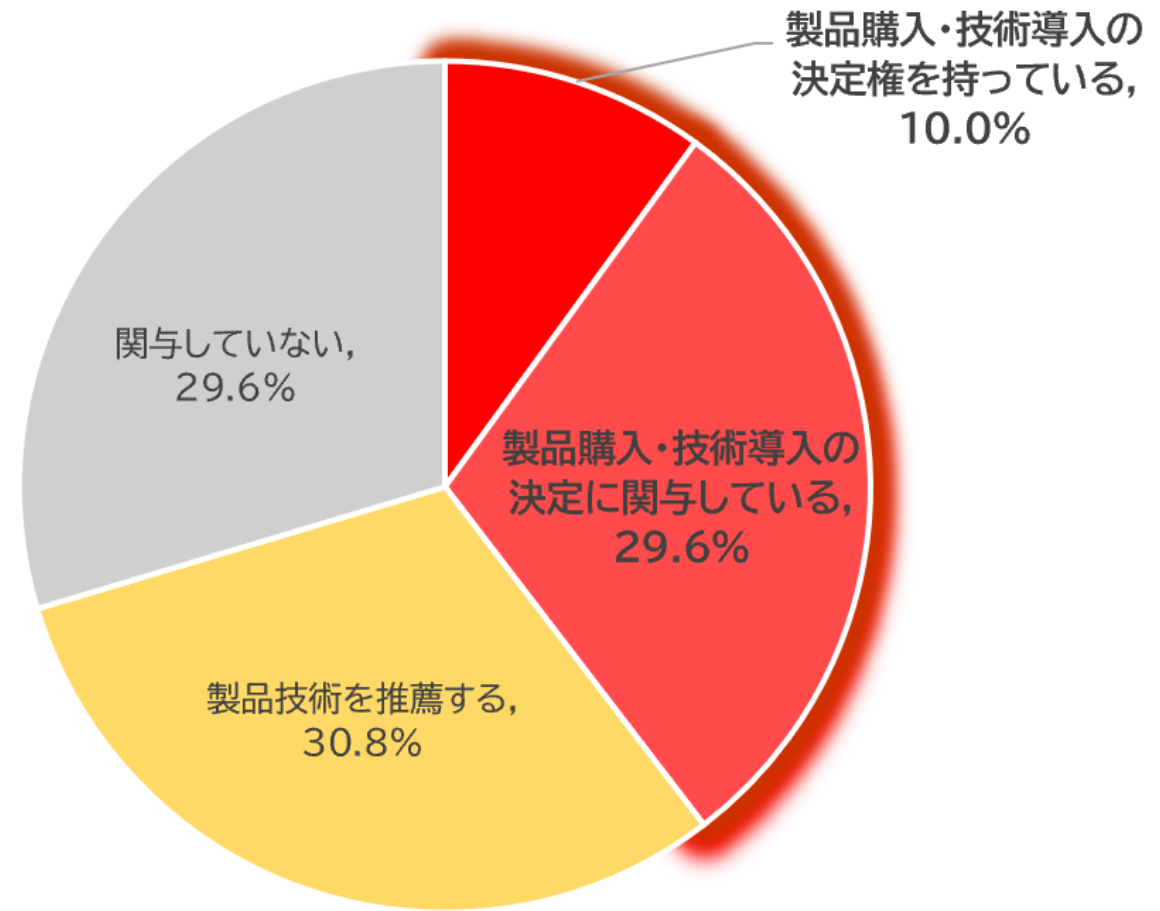
職種

約40% が R&D分野



決定権

約40% が 購入・導入の決定に関与



展示 × セミナー × オンライン機能で 広がるビジネスチャンス!!

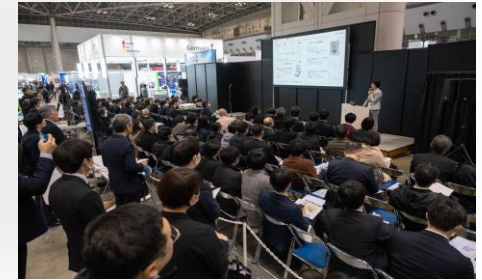
展示

新素材・加工技術の総合展が隣接
→より幅広い来場者層と直に会える



出展者セミナー

導入事例や活用ノウハウを詳しくPR！
プレゼンを併用して行うことで、
効果的なプロモーションを実現



※ブース出展料とは別にオプションへのお申込みが必要となります (詳細はp.9をご覧ください)

全出展者
無料
オンライン機能

会期3日間だけじゃない！
会期2か月前からWeb上で顧客と繋がる

①展示会公式サイトへの製品情報登録
各社の製品情報を最大10点まで掲載可能。
さらにPDF資料や動画を掲載すると、
閲覧者データをリアルタイムで取得できる！

アポイント依頼送信者の
約6割が商談獲得！

②ビジネスマッチングシステム(アポイント機能)
気になる来場登録者や出展者に直接アポイント依頼の送信が可能。
出展製品にマッチする対象者をレコメンドする機能も！



前回の「研究開発DXゾーン」は、
nano techと新機能性材料展の間に設置。
大きな相乗効果が生まれました！

出展者名	出展番号	出展者名	出展番号
大東大学 産業科学研究所	5A-17-02	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-08
自研材料機能化研究分野	5A-17-01	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-09
アスル共同 資源循環キャンペーン	5A-17-01	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-10
ダイテック エス	5B-18	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-11
Flot	5B-17	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-12
上子カ	5B-17	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-13
高岡通信	5C-18	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-14
工業	5C-18	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-15
NEC	5C-20	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-16
ソリューション	5C-20	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-17
イノベーター	5C-20	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-18
AIST	5C-20	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-19
Solutions /	5C-20	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-20
産業技術	5C-20	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-21
総合研究所	5C-20	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-22
ソリッドイノベーション	5C-20	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-23
科学技術振興機構 未来社会創造事業	5C-20	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-24
産業技術総合研究所	5C-20	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-25
センシングシステム研究センター	5C-20	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-26
システム	5C-20	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-27
システム	5C-20	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-28
システム	5C-20	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-29
システム	5C-20	MEMS SENSING & NETWORK SYSTEM 2024	5A-04-30

【ものづくり業界の課題】

2020年から感染が急拡大した新型コロナウイルスの拡大は、世界中の研究開発拠点や工場に多大な影響を与えました。
サプライチェーンが寸断されたため、原材料や部品の調達ができず、研究や生産を停止する企業も見られる等、
日本のものづくり業界を取り巻く環境は、ここ数年大きな変化を迎えました。

またさらに現在は、下記 **4つの課題** が顕在化しつつあり、製造業が今後も進化し、また生き残るためには、これらの課題と真摯に向き合い、対応策を講じる必要があります。

① 人手不足

製造業において特にその傾向が顕著だと言われ、このまま人手不足の状況が続けば、労働環境の悪化、モチベーション低下、離職率増加により、さらなる人手不足に。

② 人件費の高騰

同様に 研究開発職をはじめとした人件費の高騰も大きな課題と言われます。
労働人口が減少している現在、給与面や福利厚生等の面での好待遇が優秀な人材を獲得する要素に。

③ 技術(経験)継承問題

人海戦術に頼った材料開発・トライアンドエラーは人材不足により問題が生じやすく、また日本が誇る研究者が経験と勘でその可能性を追い求めることも、経験を継承できないと、技術や経験そのものが失われる可能性も。

④ 自動化・効率化の遅れ

近年ものづくり業界のIT投資額の増加や中小企業におけるデジタル化の意識が大きく変化しつつあるものの、手作業の多い日本のものづくり業界は、様々な要因から諸外国と比べて普及が遅れているのが実情。

業務効率化（無駄の削減）

ナレッジマネジメントの構築

DX化

DX化で解決できる領域大

こうした課題を抱えるものづくり業界への
研究開発DXソリューションの提案に特化したゾーンです

順位	キーワード名	合計	順位	キーワード名	合計	順位	キーワード名	合計	順位	キーワード名	合計
1	カーボンナノチューブ	1386	26	塗料	180	51	接合	104	76	シミュレーション	70
2	熱電・断熱・放熱・熱伝導	969	27	導電	165	52	不織布	102	77	...	70
3	二次電池 (全固体電池/リチウムイオン電池)	764	28	銅	158	53	膜	101	78	...	70
4	ナノ粒子	750	29	リサイクル	157	54	ナノファイバー	100	79	...	70
5	セルロースナノファイバー	729	30	レーザー	155	55	ロール	99	80	...	70
6	粉碎・分散・攪拌・混合・乳化・分級	714	31	シリカ	155	56	3D	98	81	...	70
7	燃料電池・太陽電池	677	32	CO2	146	57	マイク	97	82	...	70
8	インクジェット	472	33	AI	143	58	抗菌	96	83	...	65
9	グラフェン	388	34	DX	139	59	粉体	91	84	水	64
10	カーボン	364	35	MEMS	137	60	表面処理	89	85	洗浄	64
11	フィルム	334	36	印刷	137	61	シリコン	87	86	UV	62
12	コーティング	328	37	3Dプリンター	129	62	SEM	85	87	ガス	62
13	PFAS	323	38	インク	125	63	ロボット	83	88	加工	62
14	センサ	312	39	フィルター	125	64	ゴム	81	89	フッ素	61
15	樹脂	294	40	マテリアルズ・インフォマティクス (MI)	125	65	塗装	81	90	計測	61
16	めっき	263	41	ALD	123	66	ナノカーボン	77	91	有機EL	61
17	バイオ	257	42	接着	120	67	導電性	75	92	薄膜	60
18	半導体	252	43	金属	119	68	シリコーン	74	93	におい	59
19	分析	246	44	セラミックス	116	69	プラスチック	74	94	加飾	59
20	バイオマス	209	45	フィルター	116	70	ポンプ	74	95	リグニン	58
21	水素	208	46	銀	113	71	マテリアル	74	96	パワー半導体	57
22	ナノインプリント	195	47	ガラス	112	72	繊維	73	97	磁性	57
23	LED	194	48	セラミック	109	73	超音波	73	98	塗工	57
24	触媒	193	49	プラズマ	105	74	黒鉛	73	99	微細加工	57
25	量子	183	50	量子ドット	105	75	化粧品	72	100	DLC	56

来場者が製品や出展者を探す際の検索ワードとして、
特に「AI」が急上昇！(前回98位)
「DX」「MI」と共に、nano tech来場者における関心が高まっています

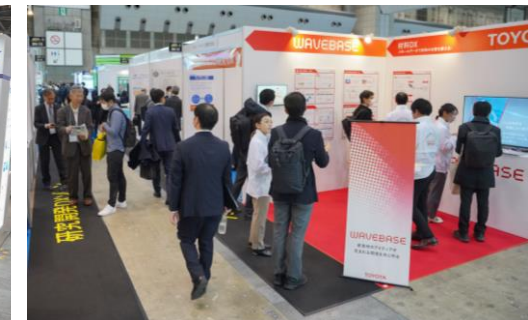
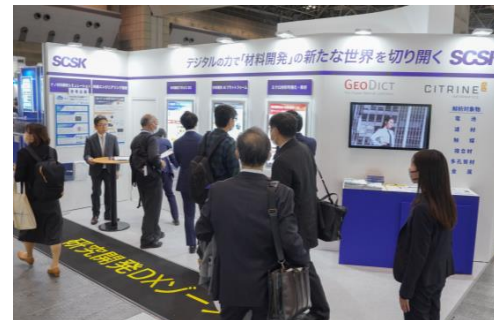
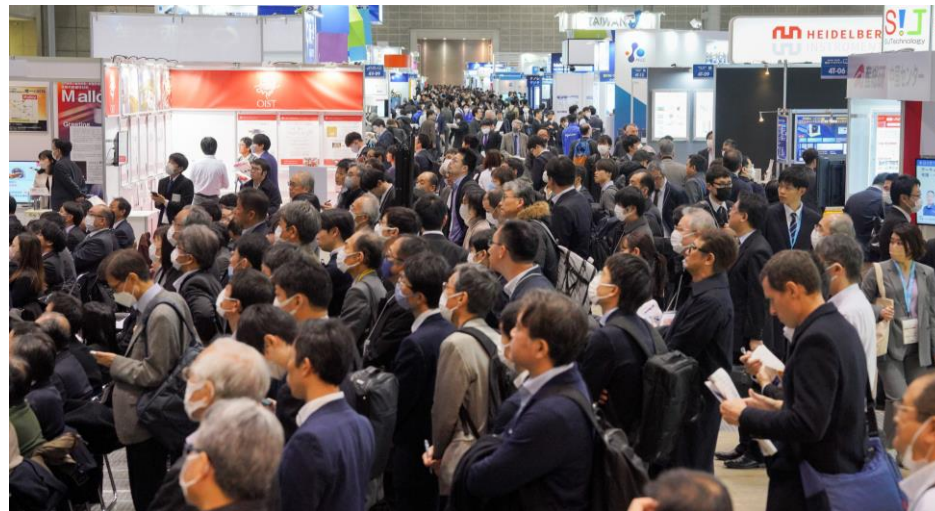
研究開発DXゾーン

ピックアップテーマとして3年目を迎えた 研究開発DX は、特別展示から常設ゾーンとして生まれ変わり、インフォマティクス(MI / PI)関連のソリューションやAI・シミュレーションソフトウェア等、材料設計・開発をはじめとした データ駆動型研究開発 を実現する各種ソリューションを展開。隣接:新機能性材料展との合同企画として、前回は上回るエリアで実施し、来場者の方々に好評をいただきました。nano tech展では今後も研究開発の高度化を支援するため、研究開発DXを追いかけます。

【実施内容】

MIをはじめとした 研究開発DX関連の製品・ソリューションを有する企業、団体によるブース出展

出展企業	小間番号
CrowdChem	5K-13
物質・材料研究機構	5L-13
東京大学辻研究室 / プロダクト・イノベーション協会	5M-13
ダイキン工業	5N-13
トヨタ自動車	5P-13
キャトルアイ・サイエンス	5K-15
NTTデータ数理システム	5L-15
日本システム開発	5M-15
計算科学振興財団	5N-15
JSOL	5P-15
MI-6	5K-16
ダッソー・システムズ	5N-16
SCSK	5K-17



前回開催実績：展示レイアウト



主催者企画

2/1(木) 特別シンポジウム： MIはナノ材料開発をどう変化させたのか - 現状の課題と今後の展望 - (nano tech)



汎用原子レベルシミュレータ
Matlantisによる計算材料科学のMI活用と課題

名児耶 彰洋 氏

Preferred Computational Chemistry
技術営業部シニアマネージャー



産業界における種々のMI活用

入江 満 氏

MI-6
CTO



ナノ材料開発におけるMIへの期待
- 新組成から新構造・新プロセスへ -

阿尻 雅文 氏

東北大学
材料科学高等研究所 名誉教授

2/2(金) 研究開発DXセミナー(新機能性材料展)



デジタルラボラトリーの
世界的潮流と将来展望

東京大学 大学院理学系研究科
化学専攻 教授
一杉 太郎



生成AIを活用した新規用途
探索の高精度化・高速化

三井化学 デジタルトランスフォーメーション
推進本部 デジタルトランスフォーメーション
企画管理部 チームリーダー /
信州大学 工学部 特任准教授 /
大阪大学 基礎工学研究科 招聘教授
向田 志保



ロボット実験とAIの連携による
蓄電池用電解液材料の
自律自動探索

物質・材料研究機構
松田 翔一

出展者セミナー

1/31(水)

2/1(木)

2/2(金)

<p>14:15-14:45 スケールアップのためのインフォマティクス活用 -ラボスケールから工場への展開- 八嶋 徹氏 MI-6 データサイエンティスト</p>	<p>14:15-14:45 樹脂コンパウンド材料における マテリアルズ・インフォマティクスの活用とは? 大山 俊治氏 MI-6 カスタマーサクセス リーダー</p>	<p>12:45-13:15 材料設計のためのDXソリューションのご紹介 渡辺 麻衣子氏 JSOL エンジニアリング事業本部</p>	<p>14:30-15:15 実験 / 解析データの利活用及びAI化を進めて R&Dに革新を! データ分析・AI活用を進める上で必要となる準備と環境 上島 豊氏 キャトルアイ・サイエンス 代表取締役</p>
<p>15:00-15:30 AIによる「閲覧」を見据えた新時代における 研究データ蓄積 永田 徹哉氏 ダイキン工業 電子システム事業部 営業部 データサイエンスG</p>	<p>15:45-16:15 3Dプリンタ(積層造形)、金属多孔質体、複合材などを 対象とした高機能材領域における ミクロスケールシミュレーションの活用事例 尾嶋 翼氏 SCSK デジタルエンジニアリング事業本部プロダクト推進部</p>	<p>14:15-14:45 半導体領域におけるマテリアルズ・ インフォマティクスの活用 -レジスト材料の探索、CMPの条件最適化編- 小島 秀平氏 MI-6</p>	<p>15:45-16:15 熱マネジメントを実現する複合材の配合最適化手法のご紹介 ~GeoDict × Citrine Platform 連成~ 金子 貴大氏 SCSK デジタルエンジニアリング事業本部プロダクト推進部</p>
<p>15:45-16:15 マテリアルズ・インフォマティクスを推進し 材料開発の高速化を実現する「Citrine Platform」のご紹介 金子 貴大氏 SCSK デジタルエンジニアリング事業本部プロダクト推進部</p>			

nano tech公式ウェブサイトの出展申込フォームよりオンラインにて受付いたします。
主催者が出展申込を受領した時点をもって、出展の契約が成立となります。
仮申込をした場合、2024年8月1日以降本申込への自動切換えとなります。

- ①オンライン申込フォームにアクセスしてください。
<https://application.jcdbizmatch.jp/jp/nanotech2025/nanotech>
- ②「出展ゾーン」項目にて「**データ駆動:研究開発DXゾーン**」を選択の上、必要事項を記入ください。
- ③「お申込内容および出展料金」項目にて「出展（一般）」「シーズ&ニーズセミナー」などにお申込いただく数量をご記入ください。



出展申込書

出展（一般）	¥418,000 x <input type="text"/>	小間 = ¥0
出展（独法・公的機関/協会・団体）	¥319,000 x <input type="text"/>	小間 = ¥0
出展（大学・研究室）	¥209,000 x <input type="text"/>	小間 = ¥0
シーズ&ニーズセミナー （1セッション30分）	¥110,000 x <input type="text"/>	枠 = ¥0
シーズ&ニーズセミナー （1セッション45分）	¥165,000 x <input type="text"/>	枠 = ¥0

※ ご出展小間数記載ページ

● **小間位置につきましては、小間数順 かつ お申込み先着順で調整～決定させていただく予定です。**



連絡先 nano tech 実行委員会事務局 / (株)JTBコミュニケーションデザイン内
〒105-8335 東京都港区芝3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング
TEL:03-5657-0760 FAX:03-5657-0645 E-mail:nanotech@jtbcom.co.jp

Jtb
Communication
Design